

えびの

市議会
だより

第141号

令和6年7月19日

Ebino City Assembly Report 2024/7/19 Vol.141



9月定例会は9月2日(月)開会予定

6月定例会議案概要

令和6年6月定例会は、5月31日から6月17日までの18日間開催し、報告5件、議案11件、陳情2件について、審査しました。

(※審査結果の詳細は、3～5ページをご覧ください)

【条例改正に関する議案】

◇報告第2号

専決処分したえびの市条例の一部を改正する条例の承認について

改正の主な内容については、個人住民税額減税等についての改正及び固定資産税の土地の評価額等に対する課税標準額の割合の均衡化に伴う負担調整措置を3年間延長するものです。

◇報告第3号

専決処分したえびの市国民健康保険条例の一部を改正する条例の承認について

改正の内容については、国民健康保険税の課税限度額の引上げ及び軽減判定所得の算定における基準額の

引上げを行うものです。

【予算に関する議案】

◇報告第6号

専決処分した令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第13号)の承認について

歳入歳出それぞれ1,000万円を追加し、補正後の予算総額は歳入歳出それぞれ150億8,530万7千円となります。

*主な事業費
・硫黄山対策費

1,000万円

硫黄山噴火対策の水質改善施設において、施設の水質改善機能保持のため、堆積土砂の浚渫等工事を緊急に実施するものです。

◇議案第47号

令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について

歳入歳出それぞれ1,133万4千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ147億253万6千円となります。

*主な事業費
・硫黄山対策費

1,133万4千円

硫黄山の火山活動の影響により、水質が悪化し河川からの計画的な取水が困難になり、一部の水田で作付けができない状況にあることから、農地の荒廃化防止や地力増進の取組を進め、牛飼養農家の自給粗飼料を確保するため二毛作を推進するものです。

◇議案第48号

令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について

歳入歳出それぞれ2億3,462万9千円を追加し、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ149億3,716万5千円となります。

【その他の議案】

◇議案第41号

動産の買入れについて

消防ポンプ自動車 1台

2,915万円

【人事案件】

◇固定資産評価員

後藤 洋一氏



令和6年6月定例会 総務教育 常任委員会 報告

6月定例会において、当委員会に付託された議案2件・陳情1件の審査を行いました。審査の結果、議案2件は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。陳情1件は継続審査と決まりました。以下、主な議案等の審査内容を抜粋して報告します。

① 議案第50号 令和6年度えびの市水道事業会計予算の補正（第1号）について

水道料金等の額を審議するための水道料金等審議会設置に伴う委員報酬です。

Q 水道料金等審議会構成メンバー（11名）の詳細について。

A 3月定例会で可決された水道事業経営戦略後期計画の策定

に携わっており、また、えびの市の上水道事業を理解していただいている経営戦略策定委員会の委員から選

定を考えている。

【委員の主な組織】

- * えびの市地域婦人連絡協議会
- * えびの市社会福祉協議会
- * えびの市自治会連合会
- * J A 宮崎えびの市地区本部
- * えびの市商工会
- * えびの市高齢者クラブ連合会
- * 市内の民間企業
- * えびの市PTA連絡協議会（各団体代表者1名）
- * 商工会経営指導員（識見者1名）
- * 住民公募委員（2名）

【審議会設置後の

タイムスケジュール】

- 第1回目（6月下旬予定）
《市長から水道料金等審議会への諮問、えびの市の水道事業の現状説明》
- 第2回目（7月下旬予定）
《料金改定案を提示》
- 第3回目（8月下旬予定）
《料金改定案協議》
- 第4回目（9月下旬予定）
《料金改定案の再協議、決定及び答申案決定についての慎重審議》
- 10月上旬頃には、水道料金等審議会から市長へ水道料金改定に関する答申を予定

② 陳情第5号 えびの市弓道場誠心館の建替えについての陳情書

この陳情書は市へも同様の要望書が提出されているので、まずは所管である社会教育課から、現状や市の考え等について説明を受けました。

【社会教育課からの説明】

弓道連盟から令和6年2月16日付で市長・教育長宛に要望書が提出されている。弓道場の現状は、昭和48年に設置され、建設から50年経過し、かなり年数が経っている。体育施設の中でも一番古い建物である。旧耐震基準は満たしているが、新耐震基準は昭和56年以降に建てられた建築物が対象なので、現在の新しい耐震基準は満たしていないのではないかと認識している。これまでも弓道連盟からは様々な要望をいただいており、その都度、修繕や改修工事等に対応し、常に連盟とは話をしている。今回は建替えについての要望であり、施設整備が必要なのは認識しているが総合的に考える必要もあるので、すぐ建て替える方針を今現在では整理出来ていない。今も施設を利用して、地震が発生した際の避難訓練実施を考

Q 現在の場所から他の場所や建物への移動は検討しないのか。

A 既存施設で有効に使える場所がないかも考えているため、その方法も踏まえて連盟と協議していきたい。

Q 弓道連盟との具体的な協議内容とは。

A 令和6年2月に要望書受領後、避難訓練等の実施について話をしている。場所等の要望に関しては、もし建替えをするなら今の場所

でなければいけないのか等を尋ねたところ、場所はどこでもいいと意見を聞いていたため、既存公共施設利用の検討等をしている。併せて、スポーツ競技施設を施工している会社に、弓道場を建設した場合のおおよその見積もり金額等も調査をお願いしている。

今後、陳情書に基づいての現地視察や陳情者から説明を受ける等の必要があるため、継続審査となりました。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

令和6年6月定例会 産業厚生 常任委員会 報告

6月定例会において当委員会に付託された報告1件、議案4件、陳情1件の審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり承認及び可決すべきものと決まりました。陳情については、継続審査と決まりました。以下、主な議案等の審査内容を抜粋して報告します。

①報告第3号 専決処分したえびの市国民健康保険条例の一部を改正する条例の承認について

Q 課税限度額の引き上げに伴う国民健康保険の保険税の負担と軽減判定基準額の引き上げの解釈は。

A 今回対象となるのが2割軽減、5割軽減について判定を行う上で、基準額が増額されるものである。軽減判定基準額の引き上げは、

所得の多い世帯は負担が増えることになるが、中低所得層世帯は保険税負担軽減になるものである。

②議案第42号 宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について

Q 施設等に入所されている方への対応は。

A 今年の7月末日までに広域連合から一斉に保険証が交付され、来年7月31日が有効期限となる。12月2日以降に新たに資格を取得された方には資格確認書が広域連合から送られてくる。

Q 該当者への周知方法は。

A 本年8月に一斉更新があるので、その際に被保険者証の中に改正内容のリーフレットを同封し、また広報紙等でも分かりやすい周知を図りたい。

Q 後期高齢者へのマイナンバーカードの普及率は。

A 令和6年3月末で登録率は53・7%で、まだ半数近くが未登録なので8月の一斉更新の際にはマイナ保険証の推進も図りたい。

③議案第45号 えびの市国民健康保険条例の一部改正について

Q この改正によってどの程度影響があるのか。

A 所得や世帯構成によって様々な状況がある。改正された内容の周知は。

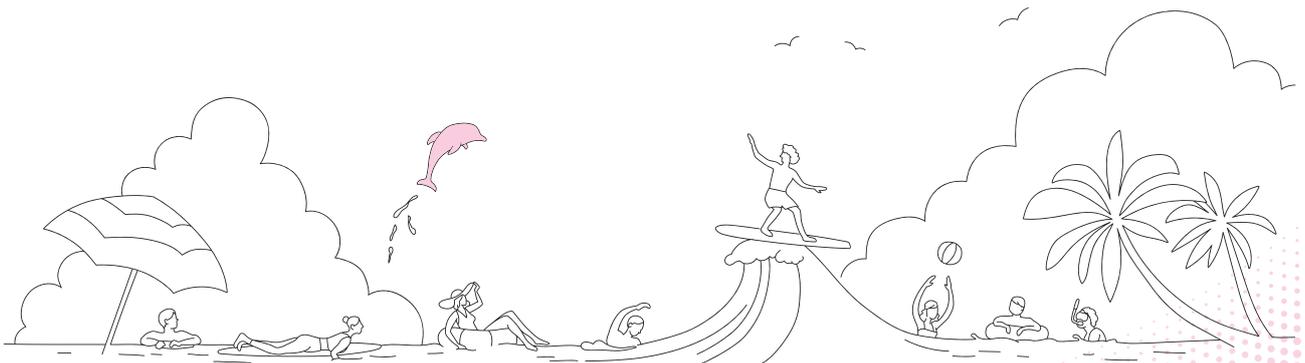
Q 例年、課税通知書を発送する際に国保だよりを同封している。その中に、税率等を示していく。

④陳情第7号 市道池島上江2号線の改良に関する陳情書

まずは現状を見ることが優先であるので、陳情者を交えた現地調査を行うことになりました。

産業厚生常任委員会

委員長 川野 亮



令和6年6月定例会 予算審査 特別委員会 報告

6月定例会において、当委員会に付託されました議案1件について、審査を行いました。審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。以下、議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第48号 令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について

【総務費】

国際交流推進事業費

191万8千円

Q 国際交流記念事業について、いつ、どのような事業を行うのか。

A NPO法人えびの国際交流協会と共催で行うもので、事業の内容は、市内の小学校の児童と元えびの市の国際交流員を招いての「国際理解講座」の開催。えびの市民と国際交流員との交流会。過去の

国際交流員留学生によるパネルディスカッションや中国伝統芸能雜技等を予定している。

【衛生費】

母子健康包括支援事業費

4万5千円

Q ベビーマッサージ教室等の委託料であるが、どこに委託し、どのような形で実施されるか。

A 専門性を要するベビーマッサージの資格経験を要する講師が必要ということで、助産院に委託を考えている。

Q 現在、市には助産師はいないと認識してよいか。

A ベビーマッサージ教室を行っていた母子保健相談支援員の助産師が退職されたが、その後新たに助産師を雇用している。

Q 産前産後のケアができる助産院が脆弱な地域にとつては、助産院は要の場所である。赤ちゃん訪問のときなどに、こういった所をおすすめするような形で、そのフォロー体制と周知をして欲しい。

A 赤ちゃん訪問や3ヶ月児健診時に紹介をし、交流のきっかけ作り等で利用してもらいたい。

Q ベビーマッサージを受けるときは、実費支払いになるのか。費用の負担は考えていないか。

【商工費】

企業立地対策事業費

148万6千円

Q 企業の雇用確保を支援するため、当初、働き手の確保の労働力調査をしている。当初の調査と連動しているのか。

A 過去に行った労働力調査結果からも、えびの市内においては自動車での通勤が主であり、働き方圏内としては30分以内が最も通勤し易いということで、新聞広告は、30分圏内を考えている。

Q 市が産業団地を提案するとき、労働力調査では労働力は3千人等の発表があった、そのこと連動しているのか。

A 労働力に対する考え方は変わっていない。広告紙には、担当課の問い合わせ先、電話番号等は明記してあるか。

A 企業立地課の連絡先を記載する考えである。

【消防費】

災害予防対策事業費

468万2千円

Q 避難所を兼ねた旧大河平小学校トイレの改修であるが、これは固定のトイレを改修するのか、移動式の避難所トイレを活用している所もあるが、具体的な考えは。

A 便器を洋式化し、高齢者にも利用しやすいトイレとなる。移動式のトイレではない。

Q 車いす対応のトイレは考えていないのか。

A 車椅子の対応はしていない。

Q 各担当課の所管は、互いに話し合いをして、内容を検討するような方法がなぜ出来なかったか。

A 防災担当をすする担当課としては、各所管で改修工事等を検討する場合があると思うが、各所管で意識を共通して持つことが、大変重要であると考えているので、担当課として、その周知が図れるよう、取り組んでいきたいと考えている。

予算審査特別委員会

委員長 松窪 ミツエ



子育て世代への支援を!!



田口 正英
議員



質問 えびの市の敬老祝金報償金とはどのような目的をもった祝い金なのか。

市長 高齢者の長寿を祝福するとともに敬老の意を表し、その福祉の増進を図ることを目的として条例に基づき支給している。

質問 若い人たちも長寿になれば対象になるから世代間不平等ではないと思われるか。

市長 少子化における政策も考え、また、条例の中の先輩方のお礼も必要である。世代間の不平等はないが、時代に沿った政策を進めていく。

質問 令和3年度文部科学省の調査によると小中学生にかかる学習費以外の経費が大きく、子育て環境が厳しい状況にある。次の世



代に向けた投資をしてほしいと考えるが。

市長 就任当初の予算からすればかなり子育て支援策には手厚くし未来への投資はしている。

質問 今後、高齢者福祉事業について条例を含め他自治体等の調査、研究をし直す考えはないか。

市長 現時点に於いて見直しはしないが、今後審議会のご意見を聞きながら判断していく。

学校給食に地元の有機野菜を



本田 英俊
議員



質問 給食の利用人数は。学校教育課長 教職員、検食員を含めて1400人位。

質問 米の使用量は。

学校教育課長 1日110kg。

質問 メニユーがカレーの場合、ジャガイモ、タマネギ、ニンジンの使用量は。

学校教育課長 ジャガイモ60kg、

タマネギ64kg、ニンジン24kg。

質問 食材を納入する場合、納入業者になるための手続きは。

学校教育課長 学校給食用物資供給契約を締結の必要がある。

質問 硫黄山の火山活動による河川水質悪化による風評被害に効果的なのは情報公開と思うが。

市民環境課長 えびの市のホームページからも見られるが、宮崎

県のホームページに毎週6ヶ所の水質検査結果を公開している。

質問 今回、長江川の酸性が強いのは、硫酸だが、硫酸自体は化学肥料として農家は使用している物で、毒物でもない。問題は重金属類だが、川内川本流の水を飲料水に使用している所はあるか。

市民環境課長 薩摩川内市が利用しているが、取水制限などはない。



えびの市防災食育センター

一般質問

令和4年度決算について



後庵 卯
議員



質問 令和4年度決算カードでの経常収支比率を伺う。

財政課長 経常収支比率は92.3となっている。

質問 毎年必ず支出しなければならぬお金が9割以上を占め、残りの数%しか投資的経費や基金積立等の臨時経費に充てることができないという状況なのか。

財政課長 経常収支の考え方としてはそういうことになる。

質問 令和4年度実質収支比率は。

財政課長 9・9である。

質問 この数値が5%を超える場合、剰余金が多額に発生したとのことか。

財政課長 収支がプラスで、剰余金がその分出ている。



質問 経常収支比率が90%をこえる中で多額の剰余金があるのはなぜか、その年に入った歳入はその年の歳出に充てなければならぬのでは。

財政課長 令和5年度予定の大型事業、老朽化対策もあり、基金等を積み立てることも含むため。

Well-beingなまちづくり



遠目塚 文美
議員



質問 合理的配慮について伺う。

教育長 市内小・中学校では、合理的配慮に基づく教育を行っている。家庭教育学級で研修を行っている学校もあるので、他校へも拡げて保護者の理解も深めたい。

福祉課長 事業所へは、商工会

での啓発パンフレット配布や市広報で周知し、正しい理解を深める。

質問 山形県白鷹町では難聴の早期発見等に繋げるために、ヒアリングフレイルに取組む会社と協定を結び、適切な支援に努めている。えびの市でも検討しては。

市長 ヒアリングフレイルの重要性は認識しているので調査する。

質問 京町温泉マラソン大会で、今年初めて手話通訳者が配置された。来年も継続すべきでは。

観光商工課長 障がい者の有無に関係なく手話通訳者を配置し、より丁寧な大会運営に努めたい。

質問 永山運動公園多目的グラウンドのネット設置を要望する。

社会教育課長 ネット設置に向けて、国・県と協議していきたい。

質問 高齢者の運転免許お試し返納事業を検討してみても。

基地・防災対策課長 他県での取組みを調査し、今後協議したい。



サッカー利用も多い永山運動公園

安心して暮らせるまちづくり



小宮 寧子
議員



質問 近年、気象災害が頻発化激甚化している。気象災害を事前に予測し、早期対応に繋げるため気象の専門である気象防災アドバイザーを活用する考えはないか。

市長 本市では現在、基地・防災対策課に地域防災マネージャーの証明を受けた防災専門員が活動している。さらに防災対応力を高めるため、気象防災アドバイザーに防災の研修などでアドバイスを受けるなど活用に向けて検討する。

質問 市内公共施設のAEDボックス内に、傷病者のプライバイシー保護への配慮として、三角巾を配備する考えはないか。

市長 一部すでに配備した所もあるが、公共施設に関しては配備と同時に三角巾の必要性と利用方



三角巾を配備したAED

法が伝わる環境を作っていく。

質問 がん治療の影響で外見が変化してもその人らしく社会生活が送れるための支援として、医療用ウィッグや補正具等の購入費の助成を行う自治体が増えている。アピランス（外見）ケアの必要性について本市の考えは。

市長 本市でもニーズはあると思う。助成を行っている自治体の状況など調査研究を行っていく。

上江校区施設の整備を求める



吉留 優二
議員



質問 4年前に上江地区コミュニティセンターのトイレと調理施設の新設をお願いしたが、未だに整備されていない。センターのトイレは、旧上江中学校の野外トイレをそのまま利用しており、風の強い雨の日や夜になると、子ども、女性、高齢者の方々は不便で、心細く怖いので利用を控えている状況であり、トイレ整備をすぐに行うべきである。同時に、地域の拠点である上江地区コミュニティセンターに隣接する上江地区体育館は上江校区の緊急避難所となっておりセンターの調理施設は区民にとって必要である。上江校区の区民が快適に利用できるトイレと調理施設の整備をすぐに行うべきだが市長の見解を伺う。



上江地区コミュニティセンター

市長 施設のトイレは野外トイレで、夜子ども達も怖がるという話も聞いたところである。調理施設とトイレ同時新設は、多額の予算が掛るので調理施設の利用頻度を考えれば整備は難しい。トイレについては、今の施設の屋内にトイレが作れないか技師のアイデア等を聞き、コミュニティ施設のトイレについては、前向きに検討していきたいと考える。

観光振興は地元の資源の魅力化を！



松窪 ミツエ
議員



質問 クルソン峽を、観光資源としてどのように考えるか。

観光商工課長 クルソン峽は、溪流釣りのポイントとしては長く、自然景観からも、リピーターが絶えず訪れる有数の観光ポイントと考えており、自然体験、文化、歴史を通じたツーリズムを構築する上で重要な資源ポイントである。サイクリングやサワートレッキング等、様々なコンテンツを構築できる舞台になるのではないかと期待している。アウトドアビジターセンターの指定管理者に情報提供をしており、今後、試行的な取り組みの検討をしてもらっている。

質問 硫黄山における農家支援対策で、定例会に提案した政策以外に検討しているものはないか。

畜産農政課長 取水を断念された地区において、飼料用稲の直播や他の牧草の適性を調査するための試験栽培を計画している。

質問 道路の異常箇所を通報を、誰でも気軽にできるような、連絡手段の検討はしているか。

建設課長 国では、LINEを使った通報システムの運用がされているが、誰でも通報できる手段について、引き続き検討していく。



自然の恵沢遊びで夏を楽しむ

市道整備と水路問題について



栗下 政雄
議員



質問 市道えびの中央線については、当初の計画から50年が経過し、時間がかかり過ぎる。市長の所見を伺う。

建設課長 現在えびの駅前から池島地区の間を「えびの中央東部線」として事業を進めており、用地買収を計画している。

市長 50年の間に市民ニーズも変化しており、道路整備については、優先順位を決め地域住民の意見も聞いて進めているので、計画的に進めていく。

質問 西郷水路問題について、徳重踏切東側鉄橋改修をどのように取り組むのか伺う。

市長 吉都線を横断する部分が湾曲しているのは把握しているが、この部分は浸水被害の報告はなく、

改修の計画はない。

質問 宮内水路の問題を10年程前から取り上げているが、進捗状況を伺う。

市長 宮崎県において「ため池等整備事業」として、平成28年度に調査計画、平成30年度に事業採択されている。令和4年度までに用水路の改修工事が225・2m、隧道部の改修工事が126・7mが完成したところである。



宮内水路

拠点校部活動の送迎支援について



川野 亮
議員



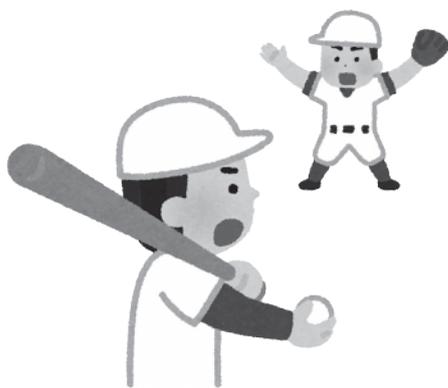
質問 拠点校部活動の状況は。

学校教育課長 飯野中学校軟式野球部、女子バスケットボール部、卓球部。加久藤中学校サッカー部、女子バレーボール部である。

質問 平日、拠点校部活動に参加するために、送迎支援ができませんか。

教育長 移動先の方がバラバラであり、送迎時間や部活動開始時間、終了時間、学校の行事予定もそれぞれ違う。バス等を使った場合、送迎支援については多くの調整をしなければならぬ。現時点ではかなり難しいと考える。そのため、自転車等による移動、また保護者の送迎を原則に、拠点校部活動に参加していただいている。

質問 今回、別々の中学校女子



生徒の親御さんからの送迎支援の相談である。自転車で行けている、送迎できているからいいではない。送迎支援すべきと考えるが。

教育長 保護者の負担軽減は重要。子ども達がやりたい部活に参加できないことは、公平性を欠くので避けたい。今後、部活動に掛かる課題等は、部活動検討委員会と意見交換をしっかりと行っていきたい。

人口減少に歯止めを！



中山 義彦
議員



質問 アウトドアビクターセンターは、平成32年3月以降は、指定管理者の自主事業との説明であったが、何が難しいのか。

市長 収入が指定管理料を上回らないのが自立できない要因である。

質問 平成22年から令和5年の13年間の県内9市の人口減少では、人口千人当りの減少数が比較すると、えびの市が一番多い。市長の公約に掲げている定住人口増について実績と今後の政策は。

市長 平成21年度から4年間の人口の年平均は174名で、これを20%抑制すると年平均が140名になり、平成25年度から4年間では年平均が125名であるため、20%の抑制をクリアしている。



硫黄山の活動状況

質問 硫黄山白濁問題で稲作断念された農家の方は、将来はどうなるのか、生活の視点から心を痛めておられる。沈殿池施設は、県の施設だが、今後も県施設として運営していくことで理解してよいか。

市長 県の施設として責任を持って運営していただくものと思っている。

市の財政、有効効率化を願う



加藤 正善
議員



質問 現在の市の借金はいくらか。

財政課長 国などから83億1千155万円、JAえびの市から1億562万円。

質問 過去の政策を含め、市長は生涯、責任があると思うが。

市長 現在と将来の市民への負担を公平にする理由、考えもありバランス、公平性を保つ。

質問 近年の物価高騰により入札落札企業の利益が無いと感じるが対策はどうしているのか。

財政課長 工事の設計は基準通り単価等、対応できている。

質問 入札の企業選定の範囲は市内業者だけなのか。

財政課長 特殊な工事以外は市内業者育成の観点から市内業者が

基本、入札できる。

質問 飯野高校への支援金額は。 **企画課長** 下宿、寮の運営費として令和5年度が3千133万円。

学校教育課長 成績優秀者に2万円、遠距離通学者に5千円、公営塾等に支援金として、令和5年度は7千863万円支援している。



宮崎県立飯野高等学校

巨大地震後の水道断水を減らす方策を！



阿部 哲己
議員



質問 6月設置予定の水道料金等審議会では、南海トラフ地震までに整備する浄水場を1カ所とするのか2カ所とするのかを料金案として提示して検討いただきたい。

水道課長 1カ所程度は完成できると考えている。

質問 柿木原浄水場は震度6以上の地震では、沈砂池擁壁が破損する恐れがあると聞く。応急復旧対策等の検討が必要ではないか。

水道課長 耐震補強が可能なものか調査し検討したい。

質問 柿木原浄水場が使用不能時の断水世帯には、山内浄水場等の応急給水塔3基で給水袋による給水給となる。1時間あたり何袋の給水袋に水を入れることが出来るのか等を検証する訓練を年度内

に行ってほしい。3基では十分に供給出来ないとなると、給水塔の増設を考える必要がある。

水道課長 計画したい。

質問 地震被害が大きければ多くの技術者が必要になる。技術者の育成が急務ではないか。

市長 水道技術管理者の資格保有者が5名いる。今年度1名の資格取得の予算を計上。技術継承や職員の配置の面も検討したい。



防災食育センターの応急給水塔

総務教育常任委員会管内調査

■日時・場所

令和6年4月17日（水）

柿木原浄水場並びに山内浄水場

■目的

えびの市の上水道施設の概要について

■調査内容

現在、行政区域内17,600人に1日あたり平均給水量は6,300㎡、1日一人に平均300リットル給水している。えびの市の水道事業は昭和33年の真幸町の簡易水道事業に始まり、昭和41年に真幸町上水道事業となる。

昭和52年から55年にかけて、熊本県境の又五郎谷の川から、延長2,844mの導水路トンネルを通して水を柿木原浄水場まで送り、ここで浄化してえびの市内全域に給水する上水道事業が完成した。

柿木原浄水場には常に職員が在中しており、モニターで水道水の状態を監視している。

地下には1,500㎡の貯水槽があり、使う分を常時送水している。

川から取水しているため、雨が強い時は原水に濁った水が流れて来る事がある。

平成21年から30年にかけて、8億8千500万円かけて、山内浄水場を整備した。

ここは、大規模な自然災害に備え、4つの井戸から、地下200m程にある地下水をくみ上げ水道水に利用する。

1日の取水可能量は、4,600㎡、原水は地下水のため濁りが無い。この浄水場は、無人で稼働している。

■総括

- 1、地震時の配管の耐震性を考えると、耐震性配管にすることが望ましい。
- 2、えびの市の人口減少もあって、将来的にえびの市の水道料金は高くなることも考えられるが、料金の抑制方法を考えていく必要がある。

総務教育常任委員会

委員 本田 英俊

総務教育常任委員会管外視察

■日時

令和6年5月15日（水）

熊本県山都町

■目的

有機作物等の学校給食への提供について

■研修内容

《山都町の有機農業歴史》

集落単位でスタート(当時のJA組合長の働き掛けで実施)

1977年 第3回全国有機農業大会開催

1985年 くまもと有機の会 発足

2014年 Aso Gairinzan Organic 発足

2016年 株式会社肥後やまと 設立

2021年 有機農業推進計画策定

2022年 有機農業実施計画策定

2023年 オーガニックビレッジ宣言

山都町の有機農産物↓5品目以上

《学校給食について》

山都町 小学校5校・中学校3校 計8校(児童生徒数 745人)

全校自校方式 完全米飯給食 (平成29年)

1994年 小中学校の母親部が学校給食へ地元農産物導入を求め運動

1996年 学校給食へ地元米、野菜の導入

2004年 有機野菜の学校給食提供

2021年

学校給食の有機米提供(学校給食の一般米と有機米の差額分を支援)

2022年 山都町オーガニック学校給食週間を開催

2023年 「ふるさとくまさんデー」における有機農産物の使用を支援(熊本県の事業)

山都町では、学校給食の全てを有機米や有機野菜で賄っているのではなく、約20%を使用しています。食育指導では、オリジナル動画を上映したり、生産者さんを学校に迎えて直接お話をしていたりしてその際は、有機給食という定義ではなく地元産の野菜等を使った地産地消の給食という統一した考え方で伝えていきます。山都町の農家さんのなかで、有機農業を行っている割合は約10%。併せて、山都町全体は元々減農薬農家さんが多く、昔から地域ブランドとして確立。販路に関しては、実際に有機農業に携わっている生産者が事業所(株式会社肥後やまと)を設立し、運営しているため、学校の負担は少ないそうです。また、山都町では有機JAS認証を取得する農家さんに対して補助制度を導入(山都町産の有機JAS米はJAが販路となり、引手数多)。今後引き続き学校給食について等を調査研究していきます。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

産業厚生常任委員会管内調査

■日時・場所

令和6年4月30日（火）

市道大河平上村線及び同線付近川内川

■目的

令和5年8月豪雨災害の復興状況及び今後の予定について

■調査内容

市道大河平上村線のえびの市側から車両通行可能な北側地点まで現地視察を行った。当該市道は、川内川最上流部に隣接した、熊本県境まで約8kmの場所に位置する。今回の視察では、特に流木が引っ掛かって水の流

れが変わり、道路や法面が削られて被害が拡大した箇所を重点的に確認した。豪雨によって大きく地形が変わった地域もあり、また、現地への道路状況は一部の箇所では状態が悪く、これが現地へのアクセスに支障をきたしていた。

今回、2カ所の復旧状況を確認したが、令和2年から令和5年までの災害は、復旧中に次の災害が起こってしまう状況にあったとの説明であった。今後は佐牛野橋付近からの堤防かさ

上げ工事の調査設計がなされ、整備される計画である。また、坂下橋下の土砂撤去の工事を県

が始めており、クルソン峡の流木や大岩の撤去も計画され、県と市とで整備区域を調整して工事を進める計画である。今後の課題としては、雨季や台風等に備えた川内川上流域の支渓流の堆積土砂の除去と流木の除去が必要であると考えます。

■総括

近年、線状降水帯の発生等もあるため、地域の安全のためにも復旧工事を早急に進めることは重要である。適宜の整備を必要とする点や被害の原因が流木のみでない点、現在までの降雨によって変わってしまった地形、山林の状況も影響することから、まだ懸念されることは多いと感じた。当市の観光振興の大きな役割を果たしているクルソン峡の復旧を進め、安心して市民や観光客に楽しんでもらえるよう、各関係機関が連携して取り組んでいくことが大切であると感じた。

産業厚生常任委員会

委員 後庵 卯

議会報告会を開催しました！

【日時】

令和6年4月21日（日）

【場所】

えびの市文化センター

2階大研修室

【概要】

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、令和2年度から開催を自粛していましたが「議会報告会」を3年ぶりに開催しました。

これまでの、開催形式を見直し、参加された市民の方との意見交換をメインとしたものになるようにしました。

参加者も議員も数グループに分かれ、それぞれのグループ内で和やかな雰囲気の中、意見交換を行えるようにしたものです。

【意見交換での「意見」】

参加された市民の方から様々なご意見を頂きましたので、その内容を報告します

★特定健診・定期健診等の周知を行い、受診率の向上に努めてもらいたい。

★認知機能の低下が疑われる高齢者が、地域にいても、その家族等には言いにくい。そういう時に地域で支援できる方法や、声掛けの仕方などの周知を行ってもらいたい。

★子どもの貧困問題で、子どものいる世帯に、助けが必要と思わ

れる人が地域にいた場合、どのように関わればいいのか、どこに相談すればいいのか分からない。

議会や議員に対しても、ご意見をいただきました。

★今回の議会報告会に参加された市民が少ないので、開催の周知に努めていただきたい。

★議会だよりについて、抽象的な表現が多くて分かりづらい。また、市民が、読みたくならない工夫を検討してもらいたい。

★色々な活動をしている若い人達の後押しや、若い人が何かしようにとしたときに、議員にも応援して欲しい。

★市民と議員と距離があるように感じる。その距離を縮めるための解決策を、検討して欲しい。

【総括】

今回開催した議会報告会では、参加いただいた市民は少数でしたが、意見交換で頂いたご意見は、大変貴重なものでした。

今後の議会活動や委員会活動を通じて、協議検討を重ねてまいります。

議会報告公聴特別委員会

委員長 吉留 優二



令和6年6月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員会	番号	件名	審議結果	竹中	加藤	後庵	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠山	田口	松達	西原	栗下
	報告第 2号	専決処分したえびの市税条例の一部を改正する条例の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	報告第 3号	専決処分したえびの市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	報告第 4号	令和5年度えびの市一般会計繰越明許費繰越計算書について	—	※質疑後、終結													
	報告第 5号	令和5年度えびの市一般会計事故繰越し繰越計算書について	—	※質疑後、終結													
	報告第 6号	専決処分した令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第13号)の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第40号	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第41号	動産の買入れについて	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第42号	宮崎県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第43号	えびの市固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第44号	えびの市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第45号	えびの市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算審査特別委員会	議案第48号	令和6年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第49号	令和6年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第50号	令和6年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

／：議長は裁決に加わらない ○：賛成 ●：反対 —：棄権 欠：欠席

2. 陳情

総務教育	陳情第5号	えびの市弓道場誠心館の建替えについての陳情書	継続審査
産業厚生	陳情第7号	市道池島上江2号線の改良に関する陳情書	継続審査



議会広報特別委員会
委員 後庵 卯

近年より若干遅い梅雨となった7月のこの時期、えびの市の田園風景は稲作の緑が広がり、生命力に満ち溢れています。しかし、今再び一部の地域でその風景を見ることができない状況となっています。硫黄山の噴出物の影響により、稲作のための取水ができないという、自然の力と人間の生活が交錯する場面に直面しています。自然の力が人間の生活に直接影響を及ぼす現実を直視させられ、私たちが自然と共存する上での課題を改めて実感させられました。

